



研修会だより

編集・発行 北海道立生涯学習推進センター
 〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目 かでる2・7 8階
 電話 011-204-5781 ファックス 011-261-7431
 E-mail kensyu@manabi.pref.hokkaido.jp
 ホームページアドレス https://manabi.pref.hokkaido.jp/



◆◆平成28年度生涯学習推進基本講座(道北会場)終了◆◆

＜研修テーマ＞ 「現代的な課題や地域課題等に対応した生涯学習・社会教育の推進について」
 ～協働を目指した地域づくりについて～

平成28年6月24日(金)に留萌管内増毛町において、総合交流促進施設元陣屋を会場に生涯学習推進基本講座(道北会場)兼留萌管内社会教育主事等研修会を開催しました。留萌管内を中心に道北各管内から43名の社会教育主事、社会教育担当職員及び社会教育委員会等が参加し、「地域の担い手の育成」「連携・協働の構築」を視점에、広域的に展開している事業などを事例に取組の具体的な方策について考えました。本号ではその研修内容のポイントを紹介しします。

【説明から】事業企画と評価・協働の構築のポイント

- 学習プログラム(個別事業計画)策定の視点は限られた時間と学習資源(予算、講師、施設・設備等)の中で、地域課題やその課題となる原因や背景の解決に向けて、どのようにプログラミングをするか(学習の実現可能性)

「社会教育」では柔軟性も備えておく
 (立案者の意図 ≠ 学習者の視点に立ったプログラム)

- 学習プログラム(個別事業計画)評価の視点は評価の視点を入れた学習プログラム
 → 学習プログラムが実施されるとともに評価が始まるというイメージ(プロセス評価)

- ・「社会教育」は、想定していない成果や問題が生じることがあるため、そうしたことを柔軟に評価していくことが望ましい
- ・社会教育の事業評価は、「学習評価」と「事業企画・展開や運営の評価」に分けて行う

- 協働(collaboration)とは
 地域住民と自治体職員が協働して地域の自治能力を高めていくこと

【協働のポイントは!】

- ☆ 地域課題につながる「支え合い・共助の仕組み」を構築すること
- ☆ 関わるすべての人を、縦にも横にもつなげ、知恵と力を合わせる
- ☆ お互いに「支えられている」という安心感を作ること



【講義から】

講師 萌っこ春待里実行委員会実行委員長 村山ゆかり 氏

「地域の歴史と特性を知り、住民と共に創り上げる地域づくり」

- 地域づくりは一人一人の意識を理解することが大切!
 - ・社会教育で大切なことは「興味」をもつこと
 - ・行政との関係で感じたことは「わからない」ことを前提に「当たり前」と思わず、しっかり話を聞いてあげてほしい
- 萌っこ春待里が18年間続いたのは
 - ・萌っこ春待里に関わる人の思い
(子供たちが将来このお祭りをやってみたいと思ってもらいたい...)
 - ・一人一人のすばらしい仲間との「支え合い」と「信頼感」
- 時代(歴史)は繰り返される
 - ・行き詰まったときに昔を振り返る
(昔にヒントが...)
- 地域づくりのポイントは
 - ・「やる気!」これさえあればできると思っています!



【研究協議では】

- 研究協議Aでは
 - ・広域的な事業のこれまでの取組を総合的にふりかえり、「人材育成」「当事者意識」「地域への愛着」などを視点に成果や課題を整理し、「将来の地域の担い手」を育成する方策と今後の方向性をまとめました

- 研究協議Bでは
 - ・連携・協働を視点に「人と物の交流を通じた地域づくり」に向けた取組について、地域の強みや交流の場などを整理し自分の考える素敵なマチのイメージ化を図りました



● 本研修会事業報告書について ●

「生涯学習ほっかいどう」トップページの「生涯学習推進センター情報 (<https://manabi.pref.hokkaido.jp/>)」並びに「平成28年度主催講座一覧」(<https://manabi.pref.hokkaido.jp/center/works/course/>)に掲載していますので、本研修会だよりとあわせて御覧ください。また、本研修講座の内容や資料についてのお問い合わせは、道立生涯学習推進センター ☎ 011-231-4111 (内線 36-328) まで御連絡ください。